

一般社団法人日本女性医学学会
2022年度(2022年9月1日～2023年8月31日)
事業報告

1. 会員動向

2023(令和5)年8月31日現在 全会員数4,639名 /前年比 +168名

2. 学術集会・ワークショップの開催

・第37回日本女性医学学会学術集会

会期:2022年11月12日(土)・13日(日)

会場:米子コンベンションセンター(鳥取県米子市)

会長:原田 省(鳥取大学医学部附属病院 病院長)

・第28回日本女性医学学会ワークショップ

会期:2023年3月18日(土)

会場:ライトキューブ宇都宮

実行委員長:尾林 聡(獨協医科大学 産科婦人科学教室 教授)

3. 学会誌刊行(編集委員会)

・30巻1号(Vol.30、No.1) :2023年10月発行/第37回学術集会抄録号

・30巻2号(Vol.30、No.2) :2023年1月発行

・30巻3号(Vol.30、No.3) :2023年4月発行

・30巻4号(Vol.30、No.4) :2023年7月発行

4. ニュースレター発行(編集委員会)

・Vol.28 No.1 :2022年9月発行

・Vol.28 No.2 :2023年5月発行

5. 学会ホームページ(渉外広報委員会)、メノポーズ週間広報

・各種学会事業についての情報更新、女性医学に関する情報掲載、アクセス状況の解析

・世界メノポーズデーに合わせ、メノポーズ週間(2022年10月18日～10月24日)の広報

・更年期啓発動画リニューアルと活用促進

6. 学会賞・学会奨励賞・優秀演題賞・JMWH Bayer Grantの選考、学会指定プログラム計画(学術研修委員会)
水沼賞の選考(水沼賞選考委員会)

・2023年度学会賞:岡野 浩哉(飯田橋レディースクリニック 院長)

・2022年度水沼賞:高 知恵(大阪公立大学大学院 看護学研究科)

・2023年度学会奨励賞:

基礎研究部門:宮下 真理子(フェニックスアートクリニック/東京大学医学部産婦人科学教室)

臨床研究部門:河北 貴子(徳島県立中央病院 産婦人科)

看護研究部門:該当者なし

・2022年度優秀演題賞:第37回日本女性医学学会学術集会一般演題より選考・決定

武田 卓(近畿大学 東洋医学研究所)

池田 裕美枝(京都大学大学院医学研究科 社会健康医学系専攻 健康情報学分野)

- ・2022 年度 JMWH Bayer Grant :
 - 岩佐 武 (徳島大学大学院 医歯薬学研究部 産科婦人科学分野)
 - 石川 博士 (千葉大学大学院 医学研究院 生殖医学)
 - 永井 康一 (横浜市立大学大学院 産婦人科学教室)
 - 飯野 香理 (弘前大学大学院 医学研究科 産科婦人科学講座)
- ・学会指定プログラム：第 37 回学術集会時に開講 「女性医学からみた脂質異常症の管理」

7. 学術調査研究事業 (調査研究委員会)

- ・「女性の生活習慣と健康に関する疫学研究：全国ナースを対象にした大規模コホート研究；Japan Nurses' Health Study」(群馬大学医学部保健学科医療基礎学との共同研究) の継続
 - 1) JNHS 追跡調査 (15,019 人の前向きコホートにおける追跡調査) を実施
 - 2) 調査対象者全員への JNHS ニュースレター送付
 - 3) JNHS 次世代コホート研究、JPHS (女性薬剤師) コホート研究の立ち上げ

8. 認定制度事業 (専門医審査委員会)

- ・2023 年認定試験運営
- ・2023 年認定更新審査

9. 専門医制度事業 (専門医制度委員会)

- ・専門医制度規則・細則等の規則類検討
- ・研修指導施設新規認定審査、更新審査
- ・指導医新規認定審査、更新審査
- ・研修開始届オンライン申請受付

10. JHDP 事業、用語関連事業 (女性医療推進委員会)

- ・「ホルモン補充療法登録調査研究事業- J H D P」 システム構築、運用準備
- ・日産婦編用語集の次回改定に向けた検討

11. 倫理・COI 委員会

- ・役員および査読者に対して COI 調査を実施

12. 女性のヘルスケア研修会事業 (教育委員会)

- ・「2022 年度女性のヘルスケア研修会」運営
- ・「2022 年度医療スタッフのためのウィメンズヘルスケア講座」運営
- ・「2023 年度女性のヘルスケア研修会」準備
- ・「2023 年度医療スタッフのためのウィメンズヘルスケア講座」準備
- ・その他研修会企画検討

13. リエゾン委員会

- ・他学会と連携して本学会の発展を目指した検討、調査を遂行
- ・女性のヘルスケア研修会やウィメンズヘルスケア講座の周知活動を遂行
- ・第 8 回日本薬学教育学会にて講演

14. 学会相互連携委員会

- ・日本循環器学会「冠動脈疾患の一次予防に関する診療ガイドライン 2023年改訂版」作成作業への参画
- ・「女性の動脈硬化性疾患発症予防のための管理指針」改訂準備
- ・「女性骨粗鬆症の予防と治療のための管理指針（仮称）」作成準備
- ・日本産科婦人科学会との連携活動
- ・日本医学会「領域横断的なフレイル・ロコモ対策の推進に向けたワーキンググループ」参画
- ・「2022 Hormone Therapy Position Statement」を endorse
- ・IMS (2024年10月, Melbourne) との連携
- ・”APMF Consensus Statement on the Management of the Menopause” (2008年策定) の改訂作業に参画
- ・AMED「予防・健康づくりの社会実装に向けた研究開発基盤整備事業」へ「働く女性における月経困難症・月経前症候群・更年期障害の二次予防・三次予防のための指針策定に関する研究開発 (令和5～7年度 研究代表者：寺内)」を申請 (採択)

15. 社保委員会

- ・更年期症候群治療管理料算定提案提出
- ・次回医療保険改定へ向けた調査、準備

16. 学会あり方委員会

- ・第37回日本女性医学学会学術集会 (2022年11月/鳥取) 一般演題選考のレビュー
- ・第38回日本女性医学学会学術集会 (2023年12月/徳島) 一般演題選考の補佐

17. HPV ワクチン連絡委員会

- ・予防接種に関連する会議参加、情報収集、会員への情報発信

18. ガイドライン検討委員会

- ・HRT ガイドライン 2017年度版改定へ向けた準備